

学校教育目標：自ら考え本気で学ぶ子 明るく思いやりのある子 元気でやりぬく子



本気

一人一人の瞳が輝き、磨き合い・高め合いながら、伸びる喜びを味わえる学校

春日部市立正善小学校
学校だより 6月号
平成30年度 No.3
平成30年6月 1日

一人一人の輝きが 正善小の煌きに

校長 大森 正樹

先月の運動会には、ご多用の中にもかかわらず、多くのご来賓や地域の方々、また保護者の方々にお越しいただき、盛大に開催できました。誠にありがとうございました。

ゴールデンウィークが明けた練習当初の頃には、ダンスや組体操などの演技がなかなか形にならず、どこまで完成できるのかと心配でした。しかし、子どもたちは真剣な眼差しで指導を受け、2週間の間、本気・全力で練習を続けたことで、すばらしく成長しました。そして、運動会当日、器楽の演奏、徒競走、集団競技、ダンスや組体操、リレーなど、競技を終えた子どもたちの表情は、やりきった満足感に溢れ、自信に満ちた誇らしさを感じました。特に、笑顔とボンボンが輝いた1・2年生の「エキサイティングにやってみよう」、色とりどりのハッピーをまとい力強く舞った3・4年生の「いきなハッピーでソーラン、ソーラン」、様々な音楽に合わせ花・波など体いっぱい動かして表現した5・6年生の「組体操2018 花、咲きほこれ!〜」の3つの種目では、一人一人が輝くだけでなく、全体として統一感のあるすばらしい演



技となり煌めいていました。子どもたち同士が、教員と子どもたちが、共に学び合い・育ち合い・思い合って演技を完成させ、更に



保護者や地域の方々に発表することで、うれしい運動会を創ることができて良かったと思います。本当に、ありがとうございました。運動会で得た自信を糧に、様々な活動を通して、子どもたちが更に生き生きした笑顔で輝き、伸びていけるよう、努力して参りますので、今後ご支援・ご協力を宜しくお願いいたします。

さて、時の経つのは早いものです。いよいよ今日から6月に入り1学期も折り返しとなりました。6月10日は、時の記念日として設定されています。この日は「日本書紀」によると天智天皇が漏刻(水時計)を設定し、鐘鼓で時を知らせ始めたことと記録されている日だそうです。昔から時を知り、大切にしたいという考えがあったのだと推測されます。時間は、だれにでも平等に与えられているものです。この時間をどのように使うかによって価値が増したり、下がったりします。また、集合時間に遅れない事や約束の時間を守ることは、周りの人たちの時間を奪わないことにつながり、規律ある生活を生み出すものになります。「時は金なり」と言われるほど時間は大切なものです。正善小学校の子どもたちには、運動会の練習同様に、しっかりと目標を掲げ、時間を有効に利用して、大きく成長し続けてほしいものです。

5月の正善小学校 第43回 運動会

希望とともに 空まではばたけ 正善っ子

5月19日（土）第43回運動会を開催しました。当日の早朝まで天気が心配でしたが、開会式までには天気が良くなり、さわやかな青空の下、子どもたちは、「本気・全力」で、競い、協力し、各学年の思いの詰まった素晴らしい運動会となりました。今年は接戦の末、白組が優勝しました。保護者の方々、地域の皆様には、早朝から応援、競技への参加、運営、終了後の後片付けまでご協力をいただきました。誠にありがとうございました。



校旗・団旗を先頭に入場行進



選手宣誓



1,2年生「エキサイティングにやってみよう」



器楽・バトクラブ「輝け！レインボーズ」



3,4年生「いきなハッピーでソーラン、ソーラン」



応援合戦



5,6年生 組体操 2018 「花、咲きほこれ！」

感動の離任式

5月2日（金）に、昨年度までお世話になり、今年度退職・転出された先生方をお迎えして離任式を行いました。先生方から最後のお話をいただき、感動いっぱい離任式でした。先生方、大変お世話になりました。

